



【学书有路勤为径 笔法入道有师门】 勤勉と努力は書道上達への道であり、良い先生にめぐりあうことは技法入門のカギである

* 本文(中・日本語)は、基本的に原文をそのまま使用していますが、一部文字等を統一しました。
* 这篇文章(中・日文)基本上保持了原文，为了统一文体，部分文字做了调整。

平成 25 年前后，因不小心摔了一跤，膝盖骨粉碎性骨折，住院，手术，康复运动…。想想今后将如何生活下去感到十分悲观，无助。恰逢此时从县里转来了一份通知。有关部门将举办《中国归国者，残留邦人书画展》有志者可以报名参加。我自小受中国传统文化的熏陶，崇拜博大精深的中国文明历史文化，特别是对书法，水墨画等极感兴趣。我想这是一个很好的学习机会，于是投稿应征。为此，有幸认识了书法老师，开始学习书法。在老师的精心指点下，使我受益匪浅也给了我很多支持和鼓励。



通过 3 年来的「书法学习」，从老师那里学到了很多有关书法的知识及作为学书法的人生哲理，信念，人品，道德。更敬佩他的教学方法，我在中国的时候，也曾是一位教师，感同身受。老师自身又是中国残留孤儿，富于理解，有同情心。教授书法是义务教学，分文不取。他常说，“不为钱财，只想为社会做一点力所能及的贡献，尽一点力量”。



我在日本首次接触到日本式书法，那还是大约 30 年前，我来日本自费研修时，为了生活及积攒研修费用，四处打工，包括教中文，此时认识了一位退休的日本书法老师。在我教他中文时，还参观了他的“高龄者书法班”。当时我忙于工作无暇顾及，老实说对于书法没有真正去面对，也没有时间去练

平成 25 年ごろのことでしたが、転んで骨折、膝の複雑性骨折だったので、入院、手術、リハビリ…。これからどうすれば良いのか非常に不安、心配、落ち込んでいた毎日でした。ちょうどその時、県から一通の手紙が届きました。それは「中国帰国者、残留邦人の書画展」が開催される予定で、作品募集のお知らせでした。私は幼い時から中国伝統文化の薫陶を受け、中国の博大な文明文化、特に書道、水墨画などに非常に興味がありました。これは良い勉強のチャンスだと思い、積極的に応募しました。それがきっかけでめぐり会った先生のご指導を受け、書道の勉強を始めました。先生は熱心にご指導下さり私を励まし、支えてくれました。

3 年ぐらいの書道教育を通じ、先生に書道関連の知識を学び、又書道家としての理念、信条、人柄、道徳を学びました。順を追って上手に学生を導いて行く先生の教え方(教授法)は、かつて教師であった私も心から承服しております。先生ご自身も中国残留孤児であるので、同情心、ご理解のある親しみやすい方です。指導は奉仕的、無報酬で行っていらっしやいます。先生のよく口にされる言葉は「金の為ではない、社会に何とか役に立ちたい、微力でありながらも皆様の為に尽くしたい」。

私が初めて日本書道に出会ったのは 30 年ほど前に自費研修で日本滞在中のことでした。生活費や研修費用を稼ぐため、アルバイトをし、中国語も教えていました。そこで、ある定年退職した日本書道の先生に出会いました。私は先生に中国語を教えながら、先生がご担当の「高齢者書道教室」を見学させてもらいました。当時私は忙しく、正直、書道についてあまり真面目に考えたことがなく、書く時間もありませんでした。このクラスは高齢者対

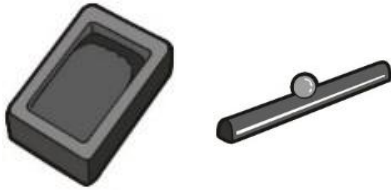
习。这个班是面向老年人，或许和年轻人不同，从基础教不好教吧！学生们各自选一句喜欢的诗，从「书法辞书」的楷，隶，行，草，篆中选喜欢的一种。老师每人每次教一个字，学员回家去练，练到一定程度，将词句连贯起来“老翁，老妪”学员的毕业作品就此完成。好则装裱，差者再练。噢！原来书法是这样练成的。这种练法对我这个既无「童子功」又无年龄优势的人来说误以为是个学习书法的捷径。受其影响，开始我也选词句，查书法辞书，写条幅，请老师修改，找不到适合的字样时，自己写，有时龙飞凤舞，想入非非胡写乱写，以为这样写很潇洒。先生回批了一个“大大的「不可胡写」外加一个惊叹号！”有的字写了好几遍，好容易写好了，结果只差一个点就写坏了，我觉得很可惜，再重新写又很麻烦，所以就用白消字液修改了一下，并不显眼，应该可以吧。然而，老师严厉批评了我，说这是自欺欺人的作法，对学习书法来说是决不能允许的行为。不管多么不显眼的错字，一定要重新去写。老师曾多次批评教育我，学习书法一定要从基础学起，先练楷书，隶书的基本笔法，这才是书法的基本，不可以跳越基础练习行书，否则是不符合学书规律的，也写不出什么名堂来。我当时听了却不以为然，我想我这等年纪，从头学起谈何容易！猴年马月才能学到手？我想写不好，可以多写几遍，几十遍，上百遍总可以了吧？但是事实证明我错了，老师说对。无根底的字，无论写多少遍，也只是貌似，形象，实不象。写得再好，最多是美术字，而不是书法。无意念，无内涵，缺乏书法入骨三分的魄力，气质。我这个不遵守规矩，不听调教的

象しょうなので、多分若者と違って、書道をじゆんをお追って教えることはむずかしいようで、生徒は自分で詩を選せん択、”書道辞典”から「楷、隸、行、草、篆」の中なかで好きなものを選び、先生は毎回一文字だけ教え、生徒たちに練習れんしゅうさせ、ある程度形が整ったら、前後を連結して掛軸かじくにして、じいちゃん、ばあちゃんそつぎょうさくひんの”卒業作品”が出来上がります。なるほど。これならいける！このような方法もあるんだ。幼い頃ころから基礎を固めてきた人でなくても、若くなくても、書道じょうたつ上達の近道ではないかと思いましたが。その影響えいきようで、勉強べんきようし始めた時に、詩を選び、書道辞典を引き、紙かみに書いて、先生てんさくに添削ねがをお願いしました。場合によっては、気に入った字がなく、仕方がなく、無造作むそうさに書いたこともありましたが、先生せんせいに厳しく判定され、赤い大きな文字で「でたらめに書くな！」と、びっくりマーク！付きで言われました。ある時、何十回か書いた後、たった一つの点てんが紙くろに黒い影かげを落おとし、惜おしいなあ、書き直しも面倒めんどう、修正液しゅうせいえきで消せば、目立たないし、いいわと思ってそうしましたが、そのことで先生せんせいに叱しかられました。修正液で消すことは自分じぶんを騙だまし、人も騙ごういす行為こういであり、絶対許ぜったいゆるされることではない。どんな小さい間違いでも真面目まじめにもう一度書き直すこと。勉強べんきようの段取りとして先生せんせいは何回も繰り返しなんかい返しかえ忠告ちゅうこくして下さいました。書道はまず楷書かいしよ、隸書れいしよから着手ちやくしゆし、それは書道の基本き本ほんであり、それをかかってに飛び越えて一氣いっきに行書ぎようしよに入ることは書きの規範きほんに反はんするものです。基本技能きほんぎのうすら習得しゅうとくできなかつた者ものはいくら行書ぎようしよを書こうとしても上達じょうたつしませんと。しかし、当時とうじ私は納得なとくできず、私わたしのような年としで楷書かいしよの一いちから習ならい始めると、気が遠きとくなるほど先さきが見えない遠い道のりだ。字あがうまく書けないなら、繰り返しかえし何回も何十回も何百回も書なんびやくかいけば何とかなるでしょうと考かんがえました。しかし、基本き本ほんが出来ていない字は何回書いてもダメ。形かたちは似にているが、中身なかみはなし。しいて言えば美術びじゆつ文字もじに過ぎすぎない。それは書道ではありません。書道本来ほんらいの大膽だいたん

“野马”“杂牌军”在老师谆谆教导下，迷途知返，终于走上了正轨，“而今迈步从头越”开始了基本功训练。现在，与三年前胡写，自认为潇洒的字幅相比，确实有了较大改进，有底气了。也有一定的自信心了。

以此契机，我读了很多有关书法的书，了解到很多书法前辈是如何学习的，每一笔是如何写出来的。醒悟到原来真正的书法是这样一步一步实打实地练出来的。

我非常感谢老师，按我个人的体验，书法能够增进身心健康，可以调整心态，锻炼自我，愉快生活。祝愿在日本生活的中国归国者，残留孤儿，邦人生活充实愉快，身体健康！（oy）



さ、含蓄はない。こうして先生の熱心なご指導のおかげで、私—この我がままな“野良犬”はようやく軌道に乗り、基本技能訓練を始めました。現在、3年前に書かれたものと比べると、確実に進歩しており、自信も持てるようになりました。これがきっかけで数多くの書道関連の本を読むことが出来ました。書道の先輩はいかに書道を習得し、字を書くにはどのように筆を運び、バランスよく格好良い字が書けるかだんだんとわかってきました。なるほど。書道はこのように一步一步としっかり順を追って身につけるものだと思えました。

私は心より先生に感謝しています。私の体験では、書は心身の健康に役立ち、心理状態を調整し、意志を鍛えることができると思います。中国帰国者、中国残留邦人が書道などいろいろな趣味や社会活動を通じ、楽しく充実した人生が送れるように願っております。（oy）